

令和4年(2022年) 11月22日(火) 14008号



# 株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号  
ヴィレッジリバー南森町3階E号  
TEL: 06-6353-7831  
FAX: 06-6353-7832  
MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.co.jp  
WEB: https://homenikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円  
6か月 38,880円 6か月 46,200円

## 非鉄金属市況・需給動向9月報告

### 7月 前月に続き供給過剰 インドネシア100千t突破

JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)がこのほど発表した市況動向9月報告のニッケルは7月のインドネシアのプライマリー生産量が100千tを突破し需給バランスも前月同様に供給過剰となった。

#### ■需要動向(9月発表分)

- ①プライマリーニッケル7月需給バランス: 国際ニッケル研究会(INSG) 22年9月発表データによると、22年7月の世界ニッケル需給バランスは16.5千tの供給過剰となった。
- ②プライマリーニッケル1~7月需給バランス: INSGによると、1~7月プライマリーニッケル生産量は1,676.0千t、消費量は1,647.0千tで29.0千tの供給過剰となった。
- ③7月のプライマリーニッケル生産状況: INSGの国別データによると、インドネシアが100,100t(前月比1.0%増)と月産100千t以上の生産量となった。

#### ■関連動向

- ①ホンダ、阪和興業と戦略的パートナーシップを締結: 2030年、40年のEVの目標販売台数達成に向け、ニッケル、コバルト、リチウムの安定的調達のため、阪和興業

と戦略的パートナーシップを締結。(6日)

- ②加Raglan鉱山のストライキが収束: Glencoreによると、加QC州Raglanニッケル・銅鉱山の労働者630名が加盟する労働組合(United Steelworkers Union Local 9449)が8月26日付で労働協約の暫定合意。これにより5月27日以降15週間継続していたストライキが収束。(8日)

- ③尼Joko大統領、Ni鉱石輸出禁止に関する世界貿易機関紛争について敗訴の可能性に言及: 欧州連合が尼のNi鉱石輸出禁止政策をWTOに提訴し、紛争処理委員会が設置された件について、Joko大統領は自国が敗訴する可能性が高いと発言。(8日)

#### ■企業動向

- ① Zhejiang Weiming Environment Protection社(中): 尼Halmahera島のWeda Bay工業団地で、50千t/年のニッケルマット製錬所を建設。投資額は448mUS\$で、Weiming社(51%) GEM社(23%)、Merit International Capital社(26%)の3社共同で運営。なお、Weiming社は22年1月に別件でインドネシアにおけるニッケルマットプロジェクトを公表。(7日)
- ② PTVI(尼): 6日、フェロニッケル製錬所建設について、中国宝鋼集団、山東鑫海科学技術有限公司と契約を締結。また、13日に中・Zhejiang Huayou Cobalt社と尼Sorowakoで新たなHPAL製錬所建設のための契約を締結。(7日、13日)

# Nikkan Kinzoku

## home.



# 故銅・銅滓 アルミ原料

### 高価即金買入

——ご照会を乞う。

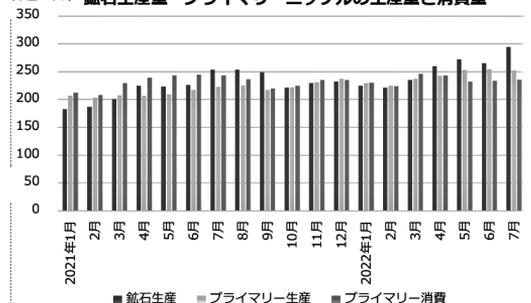
## 森下商店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579

(単位:千t) 鉱石生産量・プライマリーニッケルの生産量と消費量



### サステナビリティ報告 発行

## 環境管理体制、環境パフォーマンス、CO<sub>2</sub>排出削減などについて報告

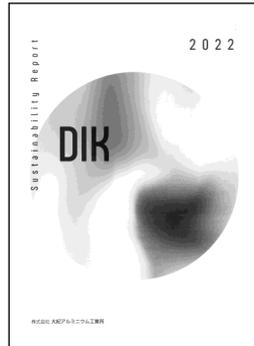
大紀アルミ

株式会社大紀アルミニウム工業所(山本隆章社長)はこのほど、「Sustainability Report 2022(サステナビリティレポート)」を発行した。

これまで「環境報告書」をまとめてきたが、これをリニューアル。環境活動E・社会貢献S・ガバナンス体制Gの取り組み事例を、より詳しく紹介している。

全体で26ページ。バリューチェーンマップや社長メッセージ、長期ビジョン・中期経営計画などを掲載する。

「環境」では、方針、環境管理体制、環境パフォーマンス、CO<sub>2</sub>排出削減などについて報告している。



Sustainability Report 2022の表紙(左)と「長期ビジョンと中期経営計画」

### 米：パナソニック エナジー、Redwood Materials社がLIBの正極材・銅箔の売買契約締結

11月15日付けのプレスリリースによると、バッテリーリサイクル企業の米Redwood Materials社はパナソニック エナジーに、電気自動車用リチウムイオン電池(LIB)の正極材及び銅箔を供給する契約を締結。Redwood Materials社のリサイクル正極材は、2025年からKS州で量産開始予定のパナソニック新工場で、リサイクル銅箔は2024年からNV州にあるパナソニック エナジー・オブ・ノースアメリカの工場で、それぞれ製造するLIBに使用される予定。具体的な金額や量などは明らかにされていない。

2025年にパナソニックのKS州新工場の操業が開始された場合、北米で大量生産された正極材が米国のLIB生産に使用される、初の事例となる。

## 鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造  
砲金くず・ラジエーターくず等



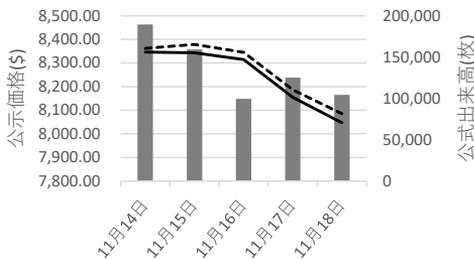
角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314  
電話 0774-43-6700(代表)

### LME公式値週間推移 11月14日~11月18日(現地)

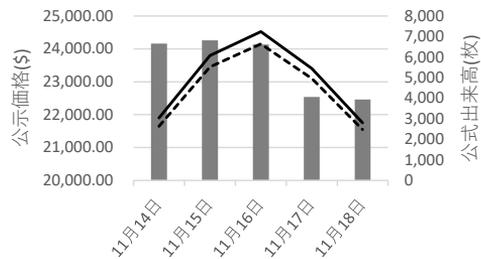
LME銅AG



	11月14日	11月15日	11月16日	11月17日	11月18日
出来高	189,349	159,407	99,512	125,082	104,409
直物	8,346.00	8,343.00	8,315.00	8,155.00	8,047.00
先物	8,362.00	8,379.00	8,345.00	8,186.50	8,086.00

出来高 直物 先物

LME錫HG



	11月14日	11月15日	11月16日	11月17日	11月18日
出来高	6,655	6,810	6,608	4,063	3,934
直物	21,900.00	23,795.00	24,525.00	23,400.00	21,750.00
先物	21,650.00	23,450.00	24,150.00	23,100.00	21,550.00

出来高 直物 先物

※ 11月18日の出来高は速報値です。



経産省

(068)

## 量産拠点はRapidusに

～ 次世代半導体の設計製造基盤確立アクション ～

経済産業省がこのほど、2020年代後半の次世代半導体の設計・製造基盤確立に向けた取り組みについて公表した。次世代半導体研究のための新しい研究開発組織を「技術研究組合最先端半導体技術センター」(LSTC)として、概要を発表。次世代半導体の将来の製造基盤の確立に向けた研究開発プロジェクトの採択先をRapidus株式会社に決定した。

次世代半導体は、量子・AIなど大きなイノベーションをもたらす中核技術。海外の研究機関や産業界とも連携しながら、国内のアカデミアと産業界が一体となって取り組むことで、日本全体の半導体関連産業の競争力強化を目指す。

今年5月に開催した第1回日米商務・産業パートナーシップ(JUCIP)閣僚級会合で、半導体協力基本原則に合意。7月に、半導体協力基本原則に基づいた日米間での共同研究の実施を見据え、次世代半導体研究における国内外の英知を結集するための新しい研究開発組織の立ち上げを決定していた。

同センターLSTCは「Leading-edge Semiconductor Technology Center」で、年内の立ち上げを目標としている。その取り組み骨子(一部略)は次の通り。

### 我が国半導体産業復活の基本戦略

- IoT用半導体生産基盤の緊急強化(Step1)
- 日米連携による次世代半導体技術基盤(Step2)
- グローバル連携による将来技術基盤(Step3)

#### 〈Beyond2nmの次世代半導体の確保〉

- 半導体トップメーカーを有する米国、韓国、台湾に加えて、欧州もドイツにIntelの工場を誘致するなど、世界中で次世代半導体の開発が加速。
- 最先端半導体は型構造が大きく変わり、量産に向けて高度な生産技術が必要となる転換期。
- 10年前にFin型の量産に至らなかった日本が改めて次世代半導体に参加するラストチャンス。
- その実現には、TSMC誘致、拠点拡大によるキャッチアップを進めるとともに、10年の遅れを取り戻す、これまでとは異次元の取組が必要。

### 日米連携による半導体産業政策

- 半導体のサプライチェーン強化・研究開発には、同盟国や有志国・地域で連携して取り組むことが不可欠。日米間でも首脳・閣僚レベルで半導体協力が進展。
- 7月に開催された日米経済政策協議委員会(経済版「2+2」)では、重

要・新興技術の育成・保護に向けて日米共同研究開発の推進に合意。日本側の取組として、研究開発組織の立ち上げを発表。

□米国NSTCをはじめ、海外の関係機関との連携を行う国内外にオープンな研究開発プラットフォームを構築し、次世代半導体の量産実現に向けた短TATかつ2nmノード以細の半導体技術開発プロジェクトを組成実施。

□国研や大学、産業界一体となって日本全体の半導体関連産業の競争力強化を目指す。

### 量産製造拠点Rapidus株式会社

研究開発プロジェクトの実施者は、「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業」のうち「研究開発項目 ②先端半導体製造技術の開発」で公募され、採択審査を経てRapidusに決まった。

□次世代半導体の量産製造拠点をめざすため、国内トップの技術者が集結し、国内主要企業からの賛同を得て設立された事業会社。

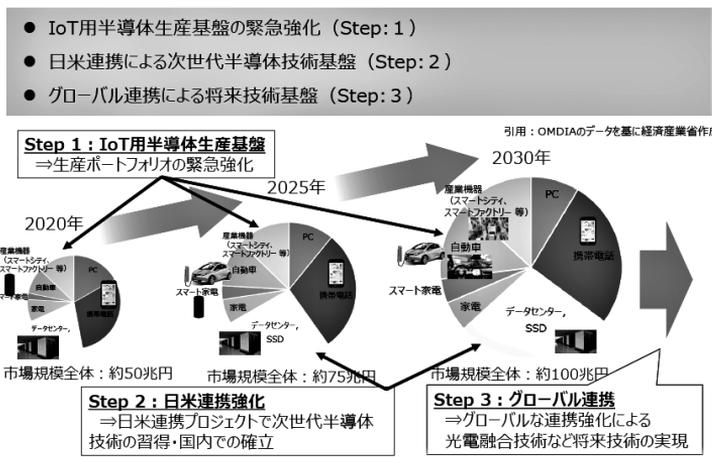
□LSTCと両輪となって、日本の次世代半導体の量産基盤の構築を目指す。

〈出資会社〉(出資は10億円または3億円)

キオクシア株式会社／ソニーグループ株式会社／ソフトバンク株式会社／株式会社デンソー／トヨタ自動車株式会社／日本電気株式会社／日本電信電話株式会社／株式会社三菱UFJ銀行

### 研究開発プロジェクトの進め方

Rapidusの研究開発テーマは「日米連携に基づく2nm世代半導体の集積化技術と短TAT製造技術の研究開発」。米IBM社などと連携して2nm世代のロジック半導体の技術開発を行い、国内短TATパイロットラインの構築と、テストチップによる実証を行っていく。2022年度は、2nm世代の要素技術を獲得し、EUV露光機の導入に着手。短TAT生産システムに必要な装置、搬送システム、生産管理システムの仕様を策定し、パイロットラインの初期設計を実施する(開発費：700億円)。研究期間終了後は成果をもとに先端ロジックファウンドリとして事業化を目指す。



# 故銅市況

前週末19日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,155.00ドルより108.00ドル安の8,047.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,072.25ドルより29.75ドル安の8,042.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,186.50ドルより100.50ドル安の8,086.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,110.00ドルより34.00ドル安の8,076.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の12月限は、前営業日の368.80セントより5.60セント安の363.20セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の12月限は、前営業日の6万6,320元より460元安の6万5,860元。

週明け21日の東京為替市場TTSレートは、前週末の141.29円より0.07円の円安ドル高、1ドル=141.36円。19日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,047.00ドル。この値と21日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の119万円より1万

## 故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

（11月18日更新）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1030~1035、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは995~1000、並銅は960~970、込銅（高品位=約97%）は950、セパは683~688。コーベルは要り用筋で624、それ以外は609ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋634、それ以外604~614どころの値頃。並青銅鋳物削粉は840~845どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が1010~1030、上銅新くずが975~995、普通上銅が950~970、2号銅線が942~962、並銅が940~960、込銅（94-97%）が888、込銅（90-93%）が890、下銅が439~489、セパが648~683、コーベルが564~609、黄銅棒地が559~604、黄銅削粉が554~599、黄銅ラジが519~527、交叉ラジが554~611、黄銅銅鋳物が539~546、送りが332~351、上青銅鋳物が837~857、並青銅鋳物が817~832、上青銅鋳物削粉が832~852、並青銅鋳物削粉が807~827どころ。

## アルミ二次合金メーカー買値実勢値

（1トン程度・置場・現金・キロ当たり円）

### 関東地区（11月後半）

2S=225円~245円、63S=209円~260円、アルミホイール(1P)=126円~240円、ビス付サッシ=100円~109円、エンジンコロ=105円~113円、込合金（機械鋳物）=96円~104円、缶プレス(ソフト)=61円~71円。

### 関西地区（11月後半）

2S=208円~210円、63S=210円~245円、印刷版=200円~205円、アルミホイール(1P)=191円~204円、ベースメタル=149円~153円、機械鋳物=101円~104円、ダライ粉=80円~83円、ビス付サッシ=88円~123円、缶プレス=78円~83円。

5,000円安の117万5,000円。この日、電気銅建値は119万円に据え置かれた。

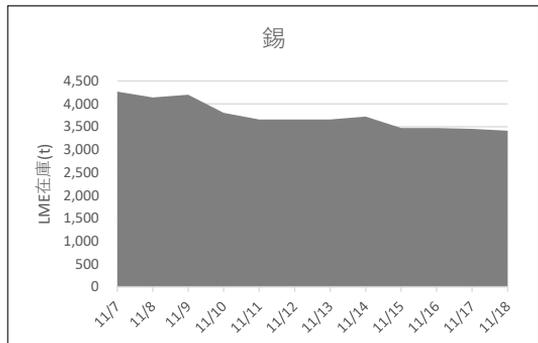
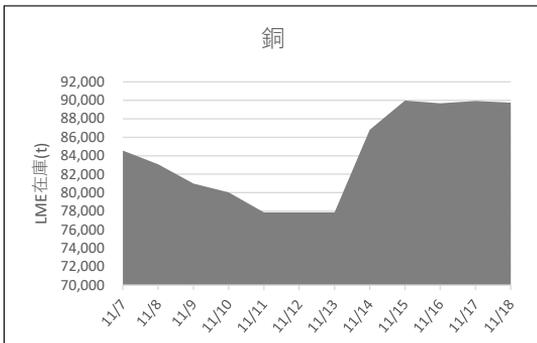
## 為替動向

18日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0040ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0360ドル~1.0370ドルで推移した。欧州の主要な株価指数が上昇、投資家のリスク選好が高まりユーロ買いドル売りが優勢になった。英ポンドも対ドルで上昇。同じく0.0150ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.1920ドル~1.1930ドルで推移した。

18日のニューヨーク外国為替市場で円相場は3営業日の続落となった。前日と比べ0.20円の円安ドル高、1ドル=140.35円~140.45円で取引を終えた。この日、ボストン連銀のコリンズ総裁がCNBCのインタビューで利上げについて「0.75%の選択肢もまだある」と述べた。前日のセントルイス連銀のブロード総裁の発言に続いて利上げに前向きな姿勢を示したことで米国の長期金利が上昇、円売りドル買いを促した。

21日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前週末17時と比べ0.48円の円安ドル高、1ドル=140.29円~140.32円で推移した。FRBによる金融引き締めが長引くと観測から米国の長期金利は上昇。主要通貨に対してドルが買われた。ただ、12月のFOMCでは利上げ幅が縮小するとの見方は根強く円の下値を探る動きは限られた。円は対ユーロでは上昇。同じく0.18円の円高ユーロ安、1ユーロ=144.89円~144.96円で推移した。

## LME認定倉庫在庫推移 11月7日~11月18日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は8,042.50ドル  
 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場も続落  
 LME非鉄相場はまちまち アルミ直物終値は2,405.51ドル



19日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、11月18日入電の8,155.00ドルより108.00ドル安の8,047.00ドル。5営業日の続落で4.67%安。この週4.67%の下落。11月に入って6.94%の上伸。3か月物の前場売値は、11月18日入電の8,186.50ドルより100.50ドル安の8,086.00ドル。3営業日の続落で3.50%安。この週4.16%の下落。11月に入って8.65%の上伸。LME公認倉庫の銅在庫は、現地11月17日の8万9,925トンより175トン減の8万9,750トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、11月限が、11月18日入電の368.95セントより5.75セント安の363.20セント。5営業日の続落で8.07%安。この週8.07%の下落。11月に入って6.40%の上伸。中心限月に当たる12月限は、11月18日入電の368.80セントより5.60セント安の363.20セント。5営業日の続落で7.19%安。この週7.19%の下落。11月に入って7.52%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、中心限月に当たる12月限が、11月18日入電の6万6,320元より460元安の6万5,860元。5営業日の続落で3.84%安。この週3.84%の下落。11月に入って3.67%の上伸。1月限は、11月18日入電の6万6,030元より460元安の6万5,570元。5営業日の続落で3.00%安。この週3.00%の下落。11月に入って5.13%の上伸。

**錫も続落**

LME錫相場の前場売値は、直物が、11月18日入電の2万3,400.00ドルより1,650.00ドル安の2万1,750.00ドル。2営業日の続落で11.31%安。この週2.84%の上伸。11月に入って22.88%の上伸。3か月物の前場売値は、11月18日入電の2万3,100.00ドルより1,550.00ドル安の2万1,550.00ドル。2営業日の続落で10.77%安。この週2.62%の上伸。11月に入って21.75%の上伸。LME公認倉庫の錫在庫は現地11月17日の3,455トンより40トン減の3,415トン。

**鉛は反発**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、11月18日入電の2,147.00ドルより28.00ドル高の2,175.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.30%高。この週0.86%の上伸。11月に入って10.63%の上伸。3か月物の前場売値は、11月18日入電の2,160.00ドルより24.00ドル高の2,184.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.11%高。この週1.25%の上伸。11月に入って11.49%の上伸。LME公認倉庫の鉛在庫は現地11月17日の2万9,625トンよりトン減の2万9,625トン。

**亜鉛も反発**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、11月18日入電の3,000.00ドルより7.50ドル高の3,007.50ドル。3営業日ぶりの反発で0.25%高。この週0.03%の上伸。11月に入って9.17%の上伸。3か月物の前場売値は、11月18日入電の3,004.00ドルより12.00ドル高の3,016.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.40%高。この週0.87%の上伸。11月に入って11.13%の上伸。LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地11月17日の4万2,750トンより50トン減の4万2,700トン。

**アルミも反発 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、11月18日入電の2,342.50ドルより26.50ドル高の2,369.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.13%高。この週1.70%の下落。11月に入って7.83%の上伸。3か月物の前場売値は、11月18日入電の2,371.00ドルより29.00ドル高の2,400.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.22%高。この週1.07%の下落。11月に入って8.74%の上伸。LME公認倉庫のアルミ在庫は現地11月17日の52万8,250トンより万3,875トン減の52万4,375トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、11月18日入電より横ばいの1,860.00ドル。この週横ばい。11月に入って16.25%の上伸。3か月物の前場売値は、11月18日入電より横ばいの1,860.00ドル。この週横ばい。11月に入って16.25%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、11月18日入電より横ばいの2,384.00ドル。この週0.04%の上伸。11月に入って0.21%の下落。3か月物の前場売値は、11月18日入電より横ばいの2,390.00ドル。この週横ばい。11月に入って0.42%の下落。

**ニッケルは続落**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、11月18日入電の2万6,070.00ドルより1,220.00ドル安の2万4,850.00ドル。3営業日の続落で16.05%安。この週4.51%の下落。11月に入って14.25%の上伸。3か月物の前場売値は、11月18日入電の2万6,200.00ドルより1,150.00ドル安の2万5,050.00ドル。3営業日の続落で15.66%安。この週4.02%の下落。11月に入って14.65%の上伸。LME公認倉庫のニッケル在庫は現地11月17日の4万9,500トンより12トン増の4万9,512トン。



LME公示価格(US\$)／11月18日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,047.00	21,750.00	2,175.00	3,007.50	2,369.00	1,860.00	2,384.00	24,850.00
	前営業日比	▲ 108.00	▲ 1,650.00	28.00	7.50	26.50	0.00	0.00	▲ 1,220.00
	週間増減比	▲ 4.67%	2.84%	0.86%	0.03%	▲ 1.70%	0.00%	0.04%	▲ 4.51%
先物	公示価格	8,086.00	21,550.00	2,184.00	3,016.00	2,400.00	1,860.00	2,390.00	25,050.00
	前営業日比	▲ 100.50	▲ 1,550.00	24.00	12.00	29.00	0.00	0.00	▲ 1,150.00
	週間増減比	▲ 4.16%	2.62%	1.25%	0.87%	▲ 1.07%	0.00%	0.00%	▲ 4.02%

海外非鉄金属相場

(11月19日 入電・現地 11月18日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table showing NY Comex market prices for Gold, Silver, Platinum, and Palladium with monthly and daily price changes.

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table showing calculation prices for various metals (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル) in different units.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table showing US producer prices for silver (EH社, HH社).

NY相場

Table showing NY market prices for copper and nickel.

ロンドン相場(ドル)

Table showing London market prices for various metals like gold, antimony, bismuth, cadmium, indium, selenium, sponge titanium, ferromolybdenum, cobalt, magnesium, and tantalum.

KLTM銅(MYR/KG、出来高トン)

Table showing KLTM copper prices for 18th and 21st days, including exchange rates and prices.

LME在庫(トン)

Table showing LME inventory for copper, tin, lead, zinc, aluminum, and nickel.

上海在庫(トン)

Table showing Shanghai inventory for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

LMEプレマーケット(ドル)

Table showing LME pre-market prices for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

上海相場

Table showing Shanghai market prices for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

\*21日のKLTMは入電がありません。

Table showing exchange rates for LME (円ベース/キロ) and COMEX (上海) with a note that 1 lot = 5 tons.

非鉄金属製品相場

(11月21日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛垂鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1500	1460	垂鉛板0.3×3×7	620	620	<b>V V F</b>	
建築用0.3ミリ	1550	1510	印刷用垂鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	55~57
銅大板2×1×2	1630	1660	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	98~101
銅管(ベース)	1630	1660	鉛板1.5ミリ	590	590	3C×1.6	102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1540	1570	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0	149~152
銅棒25ミリ	1410	1430	<b>軽圧品</b>	大阪	東京	<b>I V</b>	
銅条1.5×100	1465	1475	アルミ箔0.007ミリ	1125	1145	1.6mm	30.5~32.4
銅線0.9ミリ	1490	1490	〃 小板1ミリ	760	775	5.5sq	83.8~89.1
銅帯6×50	1420	1430	〃 大板1ミリ	740	765	14sq	207~220
銅平角線	1690	1660	〃 5052板	795	815	<b>CV-T</b>	
黄銅小板2.0ミリ	1235	1240	〃 6061板	1325	1345	600V 3C×38	1580~1679
〃 0.3ミリ	1265	1270	〃 2017板	1250	1375	600V 3C×60	2430~2583
黄銅大板2×1×2	1385	1420	〃 線3ミリ	740	760	600V 3C×100	4082~4340
黄銅管	1710	1720	〃 快削棒50ミリ	960	980	6kV 3C×38	2566~2723
復水器用黄銅管	1680	1690	〃 合金棒50ミリ(17S)	945	960	6kV 3C×60	3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	1000	1050	〃 合金棒50ミリ(56S)	900	920	<b>CVV</b> (関西-関東)	
六角棒	1030	1080	<b>貴金属(一般小口向け)</b>			3C×2	125~128
四角棒	1060	1110	白金(グラム)		◆4962	4C×2	168~172
鍛造用	1040	1090	パラジウム(グラム)		◆9889	6C×2	237~243
ネーバル	1140	1190	金(グラム)		◆8747	7C×2	271~278
高力	1140	1190	銀(キログラム)		107030	<b>合金鉄</b> 9月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1410	1420	<b>レアメタル輸入価格</b> 9月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有	249
黄銅平角線ロール仕上	1610	1630	金属ケイ素(99.99%未満)		429	〃 その他	344.8
黄銅条1.5×100	1230	1255	モリブデン酸化物		3805	フェロシリコン55%以上	342
リン青銅板一般用1.0ミリ	2580	2770	タンタル		64059	フェロクロム4%以上炭素含有	279.6
〃 バネ用0.3ミリ	2810	3010	マグネシウム		497	フェロモリブデン純分60%以上	3529
リン青銅棒25ミリ	2750	2960	コバルト		9043	フェロバナジウム	3777
リン青銅線3ミリ	3050	3260	インジウム		28739	フェロニッケル33%未満	758.4
洋白板一般用1.0ミリ	3670	3820				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	3830	3990					

減摩合金	11月16日改定	銅合金地金	11月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	3895	BC 1種	1225
2種	3805	2種	1540
3種	3700	3種	1620
4種	3270	6種	1320
5種	3090	7種	1435
7種	1240	YBSC 3種	1105
8種	1120	LBC 3種	1565
9種	965	PBC 2種	1640



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1190(18) 金 7,904(21)  
 () 実施日 電気鉛 363(8) 銀 95,920(21)  
 電気亜鉛 472(18) 錫(99.99%) 4,450(14)

キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (11月21日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 40,000 ~ 43,000(1)

非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場		東京 仲間相場		地 金			
					大阪 仲間相場		東京 仲間相場	
1トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1066	1065	電 気 銅	◆ 1127	◆ 1122	◆ 1129	◆ 1124	
2 号 銅 線	1024	—	電 気 亜 鉛	450	444	450	444	
上 銅 ( 新 切 )	1037	1033	蒸 留 亜 鉛	438	432	438	432	
雑 ナ ゲ ッ ト	895	893	再生ダイカスト亜鉛2種	368	362	368	362	
並 銅	979	961	再 生 亜 鉛 (98%)	320	314	320	314	
下 銅	960	933	電 気 鉛	344	341	344	341	
銅 削 粉	954	936	再 生 鉛 1 号	326	316	321	316	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	331	327	326	322	
新 切 黄 銅 セ バ	792	792	錫 1 号	◆ 3500	◆ 3450	◆ 3500	◆ 3450	
コ ー ベ ル	760	750	ア ン チ モ ン	1850	1800	1850	1800	
黄 銅 棒 地	758	738	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	◆ 3800	◆ 3750	◆ 3800	◆ 3750	
黄 銅 削 粉	752	734	コ バ ル ト	8000	7700	8000	7700	
並 黄 銅	685	642	セ レ ニ ウ ム	3600	3400	3600	3400	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	601	578	ビ ス マ ス	1500	1400	1500	1400	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	633	604	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550	
黄 銅 鋳 物	690	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	520	500	520	500	
山 送 り (55%)	400	—	アルミ地金 99.70 %	◎ 382	◎ 378	◎ 384	◎ 380	
上 青 銅 鋳 物	827	—	アルミ二次地金 99 %	318	313	318	313	
並 青 銅 鋳 物	825	816	〃 90 %	298	293	298	293	
上 青 銅 鋳 物 削 粉	820	—	アルミ二次合金ADC12	417	412	420	415	
並 青 銅 鋳 物 削 粉	810	801	鋳 物 用 C2BS	442	437	444	439	
新 切 リ ン 青 銅 ( 伸 銅 )	—	1060	青 銅 合 金 地 金 3 種	1570	1560	1650	1640	
〃 ( 鋳 物 )	941	—	〃 6種	1290	1280	1340	1330	
リ ン 青 銅 削 粉	859	854	ハ ン ダ 錫 60 %	2610	2570	2630	2600	
新 切 洋 白 ( 電 子 材 )	871	861	〃 50 %	2260	2210	2280	2250	
新 切 亜 鉛	229	229	〃 40 %	1985	1925	1940	1910	
ダイカストくず	194	194	減 摩 合 金 2 種	3790	3760	3795	3765	
亜 鉛 ド ロ ス	172	183	〃 4 種	3240	3215	3245	3215	
上 鉛	148	146	〃 7 種	1170	1120	1170	1120	
電池素鉛ケース込	25	25	ス テ ン レ ス ・ 特 金 18-8ステンレス 新切			85	85	
活 字 鉛	133	130	〃 ダライ粉			70	70	
新 切 ア ル ミ 1 級	260	254	高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316			240	240	
新 切 サ ッ シ 1 級	260	252	耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310			415	415	
新 切 合 金 1 級	245	232	13クローム 新切			23	24	
機 械 鋳 物 1 級	185	192	ハ イ ス 9種			265	265	
ピ ス 付 サ ッ シ P	218	207						
合 金 削 粉 P	128	133						
込 ガ ラ P	123	125						
カ ン ・ バ ラ	180	166						



非鉄金属材料相場面

PW: nikkin202211